

## 第1回千代田町地域懇談会 議事録

日時：令和2年8月19日（水）10：00

場所：千代田支所 1階 1-1会議室

1. 開会
2. 委嘱状交付
3. 市長あいさつ
4. 委員紹介
5. 神埼市地域懇談会について

### 6. 議題

#### (1) 意見交換

##### ①新型コロナウイルス感染拡大防止のための新しい生活様式について

事務局：資料説明（省略）

委員：敬老会での会食は中止し、今まで長年やってきたということで記念品を配る。

9月に地域のお祭りで天狗祭りがあるが、これも集まってやるのはよろしくないという意見が出たので中止とした。

農作業等でどうしてもやらないといけない部分については感染予防に注意して行ってもらうようお願いをしている。

委員：農作業は従来通り実施。先日綾部さん参りを行ったが、今回神事のお神酒はワンカップに変えて持って帰ってもらった。それ以外の行事やお祭りも中止。

委員：私の地区でも同じような状況である。敬老会は記念品や弁当を配布するなどという話を聞く。お祭りも基本的に神事のみで懇親会はやらない。

草刈りはやらざるを得ない。以前は公民館で集まってお茶を飲んでいたが、今回は1時間ごとに休憩を取り、現地でペットボトルを配布した。

現場で休憩だと15分ぐらいになるので作業全体が早く終わる。

委員：私の地区では地域行事がコロナウイルス感染防止のため、初めからやめたという風潮になっている。草刈りもしない。

どうすればやれるのかという努力が見えないように感じる。

このまま尻つぼみになると今後の継続が難しくなるので地域のリーダーの皆さんはじっくり考えて欲しい。

委員：今年はコロナだから区長さん楽ねと言われるけど逆に区長さんは悩んでいる。  
神事については、ここで止めて後で何か起こると、後にあそこで止めたからという話になってしまうのでどうかと思う。

委員：コロナに関係なく、地域の伝統行事が若い世代に伝わらない風潮であり、このままでは規模の小ささに拍車をかけ、消えてしまうように感じる。  
行事が再開される際には、地域の人だけでは再開できるのが難しいと思うので、開催できるように何かサポートをしてほしい。

委員：ハンギーマつりの花火大会は、開催されてよかったと感じる。3年ほど前から各自治会にハンギー祭りの花火協賛の依頼があった。花火代金の高騰と警備費の高騰が要因。昨年49集落15集落ほど協力があつたが、今年は49集落中30集落ほど協賛金が上がった。

事務局：事例紹介を一つ。ある地区で、地区行事をどうしようかとなった時に地区の若い方がやろう、一歩踏み出してみようよと言って、若い人が世代の上の人に声かけをして夏祭りをされた。  
神埼町の地域懇談会で地区が二分するようなご意見があり、市の方からソフト事業の中止をするようにとの意見が出た。  
開催にあたっては規模や開催要件がそれぞれ異なるため、何かあれば市の方に市役所の方にご相談いただければ。

委員：学校関係の話で子どもが家にいる時間が長く、ゲームのしすぎで精神を病むという話を聞いた。大きい集落については子供行事がなく大変だと思うがいかがか。

委員：私の地区では、秋口にフナつり大会を予定しており、特別密にならなければ開催するようにはしている。毎年30～40人は参加している。  
また、子供達の花植え活動としてプランターに花植えをしている。

委員：92歳になる母親がいて家に高齢者が二人という状況だけど、母親は地域のお年寄りの会合もないので筋力がかなり衰えている。  
家の中でも階段の上り下りを1日に何回もするようには努力をしているけどそれではまかないきれない状況。  
100歳体操が週一回あって、そこで数人の方とお会いできることを楽しみにしていたが、そういった外出の機会もなく、炎天下なので散歩も行けない。  
また、社会体育で30人ほどの小中学生を指導しているが、コロナ対策をずっと言

い続けてきている。

子どもたちにはなかなか定着しなかったが、1 か月前くらいから自分がどういう風にしたらできるかが身に付いてきた。特に指先を顔や髪に触れないように気を付けさせている。また、20分に1回は口を潤すようにしている。

委員：私自身高齢者だが会社を経営しており、新しい生活様式をするように社員に言っている。朝の検温や手の消毒、帰ったら必ずうがいをする。

いじめについては個人で積極的に動くことが難しいので市の取り組みぐらいしかないと思う。住みにくい生活が続くものと思われるので、自殺者も増えるのでは。

委員：神崎市で初めての症例が出た際、チラシをすぐ配布したのはよかった。風評被害や詮索はやめようという啓発の徹底が大事だと感じた。

委員：噂程度でも、子どもたちは非常に敏感になっているので社会体育活動の中止のなどの判断が難しいところがあった。噂が一人歩きするので正確な情報が欲しい。数日経てば正確な判断が出るがその日中には分からないのでどうしたものかと思った。

事務局：情報については県が公表したもので私たちも知る。

濃厚接触者や関係者は個人のプライバシーもあり市の方に詳しい情報は来ない。臨時のチラシを配布したように同じ情報を市民の皆さんと共有している状況。

委員：感染者の発表についてはある程度細かく〇〇町まで発表したほうが注意喚起にもなるし安心するのでは。

委員：観光業や運輸関係について12月ぐらいになってくると経営のしわ寄せがきつくなってくと懸念している。市の方でサービス産業などの経営がどうなっているのか把握しているか。私も身近に自殺者を二人ぐらい経験しているので。

事務局：市独自の対策は、5月市議会において事業者向けの対策を取らせていただいている。市では商工観光課を中心に、商工会と連携しながら事業者情報や事業者ニーズなどを把握し、市として対応できる部分の対応を行っている。

自殺については隣近所の声かけや地域コミュニティでの日常の対応など、そういったものが大事だという話は神埼町の地域懇談会でも出てきた。

区長さんや民生委員さんなど色々大変だと思うが、地域のコミュニティをいかに守っていくか、強く太くしていくか、そういったところを考えなくてはならないと思っている。

委員：高齢者健康体操については、ある程度収束状況を見て再開かと思う。

私の母も 100 歳を迎える。今のところ元気だが福祉センターのデイサービスが中止になっているので、これに代わるものが何かないだろうか。

高齢者の体がどんどん弱っているのが目に見えているので何か良い案があれば。

事務局：5 月頃ぶんぶんテレビでご家庭でできる健康体操を放送した。今後も出来る限り工夫しながらやっていきたい。

生きがいデイサービスが中止されているが、高齢者については感染リスクが高かったり持病を持っていたりと重症化しやすいので、より慎重に対策をしている。外に出ることが生きがいになることもあると思うのでその点は担当課へ伝えたい。

委員：アルコール消毒液について、次郎体育館に備え付けのものが、以前のものより水っぽくなったので、子どもたちに持参させている。

事務局：ジェルタイプから変わっただけであり、効能は変わらない。アルコール 60%以上が効果ありとされているが、現在配布している物 70~80%以上のものである。

## 7. その他

委員：千代田町における地域課題として市はどのように把握しているか。東部地区で言うとう人口減少への対応をどうしているのか。

また、ここ数年の大雨が続き、東部地区は今年も冠水地域が出ている。大雨が降り筑後川が氾濫しそうだったので、浸水時の高台などの避難所がないのが心配。東部地区、中部地区は公園があるが、西部地区はない。西部地区は人口が増えているのでそういう避難所がないといけないと思っている。

事務局：神崎市全域で定住対策をしており、特に脊振町や千代田町東部地区には加算措置をし優遇している。

親、子、孫 3 世代が近所や同じ小学校区に住むように助成をしている。アパート借家の助成も行っているので、周知啓発をしていきたい。

大雨による冠水対策については、東西水路の整備で水の流れを良くして冠水時間の短時間化を図ることや、浮島排水機場の堆積土除去等によるポンプ稼働の向上などの対策を行った。また、農家さんの協力を得ながら田面貯水などの工夫を進めている。避難先については、地理的要因を踏まえた人・車・農機具の避難場所の検討を防災危機管理課で協議がされていると思われる。

## 8. 閉会